



▲お田植えまつり

悠紀

六ツ美南部学区広報誌

第51号

令和2年2月14日

六ツ美南部学区社会教育委員会発行

「ワンチーム」が教えてくれたもの

学区総代会長 加藤 祐幸

新しい年を迎え、学区の皆さんには希望に満ちた令和二年になることと、お喜び申し上げます。

昨年は、ラグビーワールドカップ日本大会が開催され、日本代表チームの大活躍で日本中が歓喜で沸き上がった事も、皆さんの記憶に新しいでしょう。

その日本代表チームを指揮した、ヘッドコーチのジェイミー・ジョセフ氏が常に選手に投げ掛けた言葉の一つに、『選手同志、お互いの価値を認め合うことが重要である。』との記述を目にしました。

代表チームを結成した当初、メンバー15人中15人が外国出身であるため、それぞれの考え方や価値観の違いから協調性に欠け、チームワークを円く大変苦労したようでした。各選手に他国の慣習や生活文化を理解する重要性を論じ、各自の個性、価値観を認める事から始め、最後には、「ワンチーム」で、ベスト8に勝ち残る偉業を達成できたのでした。

現代社会では、統一、画一する事を強制する事はできません。総代を経験させていただき、団体、組織を一つの目標に導く事の難しさを感じました。

個人の考えや意見を理解した上で、町内活動を進める事、総代会の運営の当たっても各総代の地域で培われた価値観を理解し、認め合う事が大切であると思えました。そうすれば、学区民に理解される「風通しの良い町内会、総代会」に生まれ変わると、確信しています。



令和を切り拓く六ツ南子のために

六ツ美南部小学校 校長 岩瀬 竜弥

平成から令和の新时代へ。そして、学校教育には業務改善の波が。この一年、六ツ南子のためになっっているかどうかの視点で、保護者、地域の声を大切にしながら見直しに切り込んでいきます。

十一月の「学区こどもまつり」では、多くの方のご理解とご協力により、交通安全パレードから開会式でバトン部、音楽部の発表へと改善しました。運動場が参観者で埋め尽くされ、子供たちも大満足。そのままお祭りに参加できました。

全国学力・学習状況調査の六年生の結果では、「今住んでいる地域の行事に参加していますか？」に対して、参加している割合が、全国比で+17Pと驚きの数値でした。いかに六ツ南子が地域に支えられ、愛されているかをまさに証明しています。先日、「六ツ南かるた」の絵を描かれた浅井貞夫様が来校され、その絵に子供たちが郷土を愛し、日本全国、世界各国で活躍することを願われている思いも知りました。

国正町の「平和学園」の子供たちが四月より仲間入りです。皆様、よろしくお願ひします。



社教行事を振り返って

社会教育委員会副委員長 太田佐登志

学区の各団体・南部小学校教職員の皆様には、日頃より社会教育委員会の活動に深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

各団体の皆様のご尽力により、行事を通じ学区の発展・明るい地域作りに貢献できたことを心より感謝いたします。

そんな中、学区ファミリー体育祭に於いては、15町中6町の参加に留まり、今後の学区行事のあり方に一石が投じられたのではないのでしょうか。来年度以降の行事見直し、各団体・小学校教職員の負荷減等今後は、総代会を含めて議論していく必要があると思います。

私も含め総代会・社教委員の任期は、長くて二年、大半の方は一年で交代となり問題・課題が先送りとなり、中々改善されないのが現状です。残された任期の中、問題点・課題事項がゼロスタートとならない様努力してまいります。引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。



自警団の発足

六ツ美南部小学校PTA会長 茂里 和樹

日頃より、学区をあげて子どもの安全安心にご尽力頂き誠にありがとうございます。

また小学校PTA活動に、ご理解ご協力を賜りあわせて御礼申し上げます。昨年中に主要なPTA行事と学校行事のサポート活動は無事終えることができました。残すは六年生の卒業式となります。PTAの



年度末までの活動としましては、大震災などの有事に備え「子どもを守る活動」として、南部学区の小学校の父兄を中心とした自警団の発足を計画しております。主に、子どもを中心とした弱者に対する犯罪にどう備えていくか勉強会を行い、また緊急時の各地域単位での見守り活動の内容や、組織作りを行います。社教に参加する中での、「災害に強いまちづくり委員会」では、PTA会長は「児童係」の係長を担い、地域との連携として、自警団の活動を上手に融合していければと考えております。今後とも、地域で連携した「見守り」をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

皆さまのご協力に感謝

学区子ども会会長 中尾 正宏

六ツ美南部学区の皆様、日頃は子ども会活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本年度は、球技大会が雨天によって中止になりました。十数年ぶりだそうです。一生懸命練習してきた子ども達や、準備に携わって頂きました関係者の方々の思いが叶いませんでした。

そして、学区子どもまつりでは天候の心配は一切なく開催。皆様のご協力のおかげで、子ども達の楽しむ姿や笑い声が絶えず、大盛況で終わることができました。

このように活動ができるのは保護者の方々や育成者、世話係の方々の協力がなければ成り立ちません。皆様の負担を減らす改善をしながら、子ども達の心に残る活動ができるようにならしてまいります。何卒今後とも皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



一年を振り返って

学区体育委員長 石野 朋章

日頃より体育委員会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。



二〇一九年度は体育委員会の負担を少し軽減させていただくことを目標に、体育事業を推進して参りました。今以上に学区の皆様が参画しやすい体育委員会に変えていく必要があると考えます。今後とも、体育事業にご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

本年度各種体育事業結果など(上位のみ)

- 第三十三回ソフトミニバレーボール大会
 - ・通常リーグ 優勝…上側A 準優勝…新町
 - ・親睦リーグ 優勝…境
- 第四十五回ソフトボール大会
 - ・通常リーグ 優勝…上側A 準優勝…小園
 - ・親睦リーグ 優勝…国定
- 第四十六回ファミリィ体育祭
 - ・総合優勝…中村町

第四回六ツ美中部・南部学区 交流ペタンク大会開催

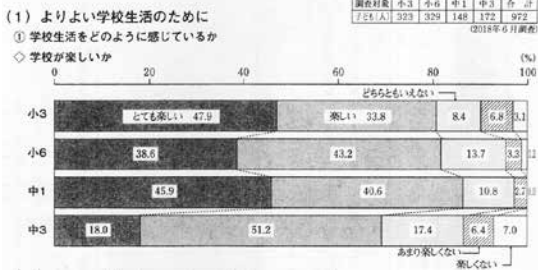
一人の学区民として

六ツ美中学校PTA会長 岩島 誠

岡崎市教育委員会では毎年、アンケートを行い、子供たちの学校生活を調査しています。昨年は小六で約5%、中三で約15%が学校生活を楽しくないと回答。そんな子たちのためにと六ツ美中学校PTAは、ふれあい夏祭りへの出店を決めさせていただきました。

当日はたくさん笑顔のなかに、一人、尋ねた年齢と学年が合わない子がお店に来てくれました。不思議には思いましたが、その子に店の手伝いを頼んでみると、一生懸命、店番をしてくれ、盆踊りでも賞品をゲットして戻ってきてくれました。「ありがとうございます！」。

この言葉から、得意げで安心した表情が見られた時、子どもには見守ること、その行い一つ一つに気持ちで応えることが本当に大切なことなのだ、ふれあい夏祭りは私に気付かせてくれました。特別なことではなく、PTAの立場に関わらず、一人の学区民として協力できることをこれからも探し、続けていこうと思います。



女性部活動を振り返って

学区女性部部长 杉浦 幸代

学区の皆様には女性部活動にご協力とご理解を賜り誠にありがとうございます。

*悠紀斎田お田植えまつり

・今年令和の大嘗祭が行われた事もあり、改めて継承の大切さを実感しました。

*六ツ南ふれあい夏祭り

・受付業務のお手伝いをさせて頂きました。

*岡崎市地域総合防災訓練

・ハイゼックスでの白飯炊出し、止血法紹介、骨折時固定法、AED取扱い等貴重な体験をさせて頂き、得た知識をいざという時に役立てられればと思います。

*学区敬老会

・部員全員でお汁粉を作り、接待を行いました。

*悠紀斎田稲刈、脱穀

時のおにぎり作り
・稲刈体験、脱穀の進め方を拝見出来ました。

今後も地域の皆様と一体となり、活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願致します。



誰もが出来る救援活動

婦人自主防災クラブ会長 白井 桂子

近年、全国各地でさまざまな災害が起きています。

防災への意識が高まる中、南部学区でも九月一日に地域防災訓練が行われ、多くの学区の方に参加していただきました。

自主防災クラブではハイゼックスを使って、米を煮てご飯を試食していただいたり、耐熱ビニール袋を使って作る調理のレシピを配布したり、身近にある物を使った止血方法や固定方法を紹介したり、AEDの使い方、人形を使った胸骨圧迫の練習では多くの方に体験していただきました。

自主防災クラブでは、年数回、消防署や青野出張所にて防災訓練の実演演習を重ね、災害時にいち早く対応出来るよう知識習得に努めてきました。万が一の際には、いろいろな行事や講習を通じて習得したさまざまな知識を活用して、学区の方々と災害を乗り越えられたらいいなと思います。この二年間を通じて多くの方々と関わった事にとっても感謝いたしております。皆様のご協力で無事に活動する事ができました。ありがとうございました。



第十回六ツ南ふれあい夏祭り

夏祭り実行委員会委員長 早川 信行

昨年開催された第十回六ツ南ふれあい夏祭りにおきまして、多大なるご支援・ご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

ご支援・ご厚情により、令和時代初並びに第十回という記念すべき開催にふさわしい、賑やかで笑顔あふれる夏祭りとなった旨及び実現できた主な企画や演出等につきまして、ご報告申し上げます。



- ・「祭り」感を一層高めるのぼり旗 (出店用・会場用) の設置
- ・豪華賞品を数点取り揃えた
- ・「大抽選会」の開催

・マグロ解体ショー並びにマグロ切り身の無料ふるまい などなど

弊会は六ツ南ふれあい夏祭りの次回開催に向けて始動致しました。第十一回を迎えるに際し原点に戻り、地域全体の子供からお年寄りまでの幅広い年代が、こぞって楽しめるイベントにいたします。次回開催時におきましても、引き続きご支援・ご厚情のほど、よろしくお願い致します。

民生・児童委員の活動

民生児童委員長 鶴田 章彦

日頃は六ツ美南部学区民生児童委員の活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。私共は男性七名女性六名、計十三名です。昨年十一月一日より五名の方が改選され、新しいメンバーで日々活動しております。毎月第二水曜日に会議を持ち、色々な問題を解決出来る様努力いたしております。活動内容につきましては「子供達の見守り」並びに「ひとり暮らしの高齢家庭の見守り」です。登下校の児童の安全、学校周辺や通学路にての見守り等です。また、ひとり暮らしの高齢家庭を見守ることも重要です。日頃から高齢者への声掛け、地域住民の抱える悩み事などに耳を傾け、少しでも安心して暮らせる様に心掛けております。私共民生児童委員は守秘義務があり、相談内容がほかの人に伝わることはありません。安心してどんな問題でも相談して下さい。解決する為に行政や専門機関のパイプ役として活動していきますので、今後共よろしくお願い致します。



子供たちの為の父母会

六ツ美南保育園父母の会会長 野本恵美子

学区の皆様には日頃より父母の会活動に、ご理解とお力添えを賜り六ツ美南父母の会役員一同心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。私たちが六ツ美南保育園の活動では、四月の役員総会に始まり、新入園児の為の立門、年に三回の資源回収、手作り品を中心としたバザーなどがあります。「子供たちの為の父母会」をコンセプトに活動してきました。学区の行事では夏祭りの盆踊り、敬老会、ファミリー体育祭、学区子ども祭りと社教の皆様方PTAの方々のご尽力により無事に終わり、子供たちの喜ぶ笑顔が沢山見れました。役員全員で意見を出し合い助け合い、皆で協力してやってこれたと思います。先生方や保護者の皆様、そして地域の皆様のご協力が無ければここまで何事もなくこれなかつたと思います。本当に、一年間、六ツ美南保育園父母の会の活動にご理解とご協力をし頂きありがとうございました。最後に役員の方皆さん一年間お疲れ様でした。楽しく活動できて良かったです。



父母の会活動を振り返って

中島保育園父母の会会長 森 巳穂

日頃、学区の皆様には中島保育園の父母の会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度は二十四名の役員で活動しています。園で初イベントの夕涼み会では、販売コーナーを設け、親子で盆踊りや先生方の企画で夏の夕べを楽しみました。また、インフルエンザで園児や役員にも大流行の最中に開催したバザー。少ない人数でも協力して無事に終えることができました。



学区の行事では敬老会、ファミリー体育祭、学区子どもまつり等に参加し、地域の皆様との交流ができました。特に夏祭りの盆踊りには練習から子どもと一緒に参加し、コンテストでは見事優勝。役員の絆も深まり、良い思い出となりました。

会の活動、そして子どもたちの健全な成長は、先生や保護者の皆様、地域の皆様のご協力の賜物だと改めて感じています。ご支援いただいた皆様、そして、一年間共に活動した役員の方々に心より感謝申し上げます。

子供たちとの縄ない

六南睦会会長 渡辺 弘

今年も五年生の子供たちと縄ないの行事を行いました。大人の指導の方も三十人ほど参加して戴き有難うございました。

教える側の皆さんも常に藁には触れることもない時に、子供たちと一緒に藁になって藁たたきから藁をそろえて袋詰めをして、段取りのときから子供たちと触れ合いました。老人会の人たちなど二日目も指導のため、各教室に分かれてみなど本番の指導をしました。

現在では大人も藁で縄やムシロを作ることはない時代に、昔はこんなことをしていたのかと感じてほしいです。

今の時代と昔の時代を思うことは大切なことだと思ってくれば、この行事は成功だと思っています。

ここ最近災害が多く、いざという時にアツと思えば出せたらこんな素晴らしいことはありません。子供たちが大きくなって大人になった時、どんなことができるか、それは経験だと思えます。

素晴らしい六南小の子供たちの成長を期待しています。



岡崎ごまんどく体操開催場所の拡大

六ツ美南部学区福祉委員長 小谷外志男

学区の皆様には福祉委員会の活動にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

六ツ美南部学区の福祉委員会を発足してから十九年になり歴代の福祉委員のご努力で市内有数の活動に成長しました。現在の活動は、悠々クラブでのリズム(3B)体操、小学生との世代間交流、山本先生による健康講座、いきいき教室ではコーラス、軽体操、手話。福祉サロンは折り紙、手芸を楽しみ悠紀の里に展示。秋のウォーキング。グラウンドゴルフも発足して三年目で毎週火曜日早朝から楽しんでいきます。

岡崎ごまんどく体操を岡崎市長寿課、むつみ包括様のご指導により、前年度は33か所・憩いの家、後屋敷公民館、定国公民館。今年度は新たに四月中村公民館、国正公民館、十一月には正名・二軒屋公民館、一月に上側東記念館、計七会場で開催する事ができました。

次年度は順次皆様のお近くの集会所での開催を予定してまいります。

岡崎ごまんどく体操は歩いて行ける集会所で行う健康体操です。毎週一回四〇分程度です。三ヶ月単位での効果確認を行っている、満足されている方が多数です。

岡崎ごまんどく体操(正名・二軒屋)

令和元年11月15日(金)10時から、正名二軒屋公民館で「岡崎ごまんどく体操」が行われました。正名二軒屋公民館は令和元年10月19日(土)に竣工式が行われた、真新しい公民館です。町民が待ちに待った岡崎ごまんどく体操を募集したところ、40名以上の方が参加されました。岡崎市福祉部長寿課の皆様、むつみ包括支援センターの皆様に分かりやすく教えて頂きました。15日は説明会が行われ、11月22日(金)には先ず身長、体重、血圧測定、握力、柔軟度測定を行い各自の記録簿に記入しました。3か月後には同じ測定を行い効果の確認がありました。



地域活性化

岡崎市六ツ美商工会副会長 中根 敏勝

岡崎市六ツ美商工会は昭和六十年から毎年継続して「商まつり」を開催しています。地域社会の活性化に貢献することを目的として平成、令和時代を新たに迎え地域の各種団体等と相互交流を促進し、お子様からご年配の皆様「ふるさとのお祭り」として今年度も四月二十一日に盛大に開催いたしました。(来年度は秋十月四日開催予定)又、毎年六月二十三日を「六ツ美の日」と定め六ツ美地域のPRを目的として地域の催事、祭礼、建造物、街並み、自然景観、人物等の被写体を一年間(4/1〜翌3/31)撮影した作品を対象として写真撮影入賞表彰を行っています(6/21商工会館にて)。その他、地域ブランド開発「純米大吟醸酒 萬歳」の企画協力、青年部のフワフワドーム(エア遊具)の製作運営、また女性部の花いっぱい運動等の地域活性化事業を推進しています。岡崎市六ツ美商工会はこれからも地域コミュニティの向上に努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



地域防災の要として

六ツ美消防団第三部 部長 小田 翔太

学区の皆様には、日頃から消防団活動にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。消防団は本業を持ちながら、学区の安心して暮らせる街づくりに努めております。消防・防災に関する知識や技術を習得し、災害発生時における消火活動や救助活動・避難誘導など皆様の生命と財産を守っています。また、平常時においても各種訓練、応急手当、広報活動なども実施しております。その訓練の一環として、今年度は五月に行われた岡崎市消防操法大会に出場しました。この大会は、ポンプ車を用いて消火活動の動作や規律、機関操作の正確さやスピードを競い合う大会です。選手はもろろんの事、サポートする部員、OBなど多くの仲間が丸となり、見事敢闘賞を勝ち取りました。この訓練の成果は大会だけでなく、実災害に活かされるものです。いつ発生するか分からない災害に備え、地域防災の要として今後も消防団活動に励んで参ります。



生涯スポーツの紹介

スポーツ推進委員 西田 一彦

学区の皆様には岡崎市ならびに、六ツ美ブロックのスポーツ事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度は十月二十七日にブロック研修会が行われ、小学生から七十代までの幅広い年齢層の八十六名に参加頂きました。岡崎市スポーツ推進委員研修部に協力してもらい研修した競技はファミリィバドミントン、クロリティー、ペタンの三競技で、どの競技も年齢に関係なく楽しめる生涯スポーツです。特にクロリティーとペタンクはスポーツが苦手な方でも楽しめます。大学の教授の講演で高齢社会の現状、要介護認定者が多く住む自治体は財政が悪化するという問題があるそうです。そういった意味では健康でいることが大きな社会貢献になるという事なのです。研修会で紹介した競技のような生涯スポーツを楽しみたいものです。



健康に暮らすために

健康推進委員 宇野 彩子

私たち健康推進委員は、健康づくりの輪を広めることを目的に、岡崎市保健所の指導のもと、本年度も活動してきました。

健康おかげさき 21の啓発活動として、学区ふれあい夏祭りなどの地域行事等で、「受動喫煙予防」や「熱中症予防」などのチラシ配りと呼びかけを行いました。

九月一日には、六ツ美南部小学校で行われた岡崎市地域総合防災訓練で、事前に受講した健康見守り訓練を活かし、災害時の役割や活動のポイントを実施しました。避難所の環境面のチェックや、避難してみえた住民の方々から話を伺い、無理のない範囲で情報収集した内容を保健所へ報告し、災害時の保健所の初動や、巡回健康相談に繋がる流れを確認できました。これからも、「健やかで心豊かなまち おかげさき」を目指し活動してまいります。引き続き、地域の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



事務局からのお願いが二点

あおみ野運動広場運営委員会事務局長 武山 隆俊

まず一点目は昨今、携帯電話での悪質な勧誘やしつこい売り込み等が非常に多く、多大な迷惑を経験しています。

そのために電話を番号ディスプレイ表示機器に交換しました。そこで、グラウンドの利用状況確認のお電話をされる際は、出来るだけ加入電話でお願いしたい。四三局の電話は、出来る限り優先し対応したいと思っておりますのでご協力を。

二点目は、昨年九月に学区内の利用申し込み者が、十二月の日曜日をすべて予約され、十一月の終わりに学区外の利用者に、事務局を通さずまた貸しをしたという事案。事務局では出来るだけ公平に、しかも、学区の利用者にはより便利に利用頂くように努力していますが、このような裏技が使われてはどのようなありません。

今後の対策として、学区内であっても利用申し込みは一回ごとの受付といたします。多少不便をかけますが、御理解いただきますようお願いいたします。

今冬も、凍結防止のニガリ散布が一月七日完了しました。



同窓会からのお知らせ

六ツ美南部小学校同窓会会長 柵木 勝良

日頃より、小学校同窓会に対し御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。

本年度の『六ツ南かるたウォーキング』は、晴天の中、百名有余の方の参加を頂き無事に終わったと感じております。

『六ツ南かるたウォーキング』については、過渡期になっており本年度をもって一旦終了と致します。今後は、同窓会として地域にどう貢献するかを考えて行く予定ですので、協力の程お願い致します。

◆同窓会入会式案内

- ・日時 令和二年三月五日(木)
- ・場所 六ツ美南部小学校体育館

◆記念講演

【入会式後の午後二時三十分予定】

- ・演題 『努力に勝る天才なし』
- ・講師 鈴木 純子(すずき すみこ)氏

◆講師略歴

- ・昭和39年 六ツ美南部小学校卒業
- ・昭和47年 岐阜女子短期大学卒業



▲講師：鈴木純子氏

大学卒業後、教職に尽き最終は連尺小学校長で定年退職。教職員時代の功績として東海三県学校図書館賞総合優秀賞、緑化教育で文部科学大臣賞、伝承文化と社会貢献で教育文化賞を受賞。

・現在 JAあいち三河女性部六ツ美支部長
皆さんお誘い合わせのうえ、御来場頂きますようお願い致します。

もの見方と考え方

交通指導員班長 加藤日出雄

近頃、高齢者ドライバーによる交通事故が取り沙汰される機会が多くなっています。

自動車の大衆化が始まった年代から半世紀が経過した現在、日本の自動車保有台数は10倍。乗用車に至っては30倍と増加の一途をたどっています。

20歳で運転を始めたドライバーも今や70歳。知識と経験は豊富だが、視野や反射に関しては衰えを感じる機会が増えてきたのではないのでしょうか。

しかしながら、社会からの承認欲求を満たすアイテムの一つである運転免許証を、いざ返納しようと思っても、行動範囲の制限や時間的な不自由、孤立感を感じてしまう為、危険と感じながらもハンドルを握っているドライバーも多いことでしょう。

そこで、マクロな社会からミクロな社会へと、視点と思考の転換を行い、欲求を満たしつつ、車を必要としない生活を確立することが、重要なポイントになってきます。

身近な行事やボランティアを通して、シニア世代のマンパワーを地域に活かしつつ、事故のない安全で安心な街づくりに向けていくことが大切ではないかと感じます。



編集後記

社会教育委員会事務局 細井 鶴貴

小学校では、今年も「悠紀の里検定」を全校で実施します。「六ツ南かるた」や「六ツ南一四選」を基に作られてきた七〇〇問余の問題から、六年生の子供たちがいくつか選び抜き、今年度の検定問題を作ります。子供たちはこの検定に向けて、互いに問題を出し合いながら覚えたり、黙々と検定問題に取り組みたりします。地域の歴史や文化を学ぶことで、子供たちの故郷を愛する心が育まれます。

さて、本年度、昨年引き続き社教事務局を担当させていただきました。六ツ美南部学区の諸団体の皆様と接し、学区民のために身を粉にし、企画運営をされる姿に感銘を受けました。それに応えようと協力し合う地域の皆様がいま。こうしたよい環境の中で、子供たちの心は豊かになります。学校と地域とが密接に連携しながら、これからも子供たちを育てていきたいと思えます。

最後になりましたが、本誌の編集にあたり総代会をはじめ、各団体の皆様にはご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。



*有料でお付けいたします。お問い合わせは、六ツ美南部小学校 教頭まで (TEL43-2105)